



日本共産党市会議員

2024年04月24日

庄本けんじ

携帯 090-6665-9401

議員控え室 0798-35-3368

活動ニュース

兵庫県万博子ども招待プロジェクト 危険な場所（万博会場）に児童生徒を 「招待」動員しないで

日本共産党地区委員会と市会議員団が申し入れ

日本共産党西宮芦屋地区委員会と党西宮市会議員団は、4月22日（月）、兵庫県が発表した「公民連携による万博子ども招待プロジェクト」に関し、石井市長と藤岡教育長と懇談し、命と安全の保障がない危険な場所に児童生徒を動員するようなことのないよう、「子どもの命第一」という立場で対応するよう申し入れました。久保田けんじ県会議員も同席しました。



学校の行事で万博に「招待」動員

兵庫県の斎藤元彦知事は、4月11日、大阪・関西万博に、県内の小中高校生を公民連携により「無料招待」として発表しました。その内容は、「学校行事として万博会場への訪問を希望する県内の学校へチケットを配布」というものです。

6月より県内の学校向けの説明会を開催し、意向を調査。10月より予約を受け付け、来年度の4月から学校の行事として万博会場へ訪問する、というスケジュールですすめる予定です。

学校が行事として実施するということになれば、児童生徒は全員参加しなければなりません。

命を危険にさらす万博会場

万博会場となる夢洲は、命の安全を保障することができない危険だらけの場所です。夢洲は、ごみの最終処分場となる場所で、そこには、ダイオキシンなどの有害物質を含む焼却灰や下水汚泥が持ち込まれます。また、猛毒のPCBが詰まった土袋数千を地中に埋めている区域でもあります。さらに、メタンガスが絶えず発生し、ガス抜き管が79本も設置され、地中に放出され、爆発事故も発生しています。

こうした状況を覆い隠す工事がされていますが、工事によって危険を取り除くことはできません。このような危険な場所に子どもを「招待」し、動員することは許されません。

問題だらけの「招待」動員

さまざまな問題点も浮上しています。たとえば、パビリオンを自由に選ぶことができない。日時も自由には決められない、万博駐車場から入口まで1キロほど徒歩移動しなければならない。児童・生徒の参加見込みは一日当たり1.4万人と推計されるが、昼食をとる団体休憩所は2000人までとなっている。いつ下見ができるのか分からない。医療的ケアが必要な児童への対応が示されていない。こうした数々の重要問題が、各方面から指摘されているところです。

命と安全第一を堅持した対応を

2024年4月22日

西宮市長 石井登志郎 様
西宮市教育長 藤岡謙一 様

日本共産党西宮芦屋地区委員会
日本共産党西宮市会議員団

兵庫県が実施するとしている 「公民連携による万博子ども招待プロジェクト」に関する申し入れ

兵庫県は、さる3月11日、「大阪・関西万博」に県内の小中高校生最大56万人を公民連携により、無料招待するプロジェクトを発表しました。

「大阪・関西万博」については、安全面を見ただけでも、さまざまな懸念が次から次へと浮上し、危険な場所に子どもを連れていくことへの不安が強まっています。

会場となる夢洲は、廃棄物の最終処分をする場所で、ダイオキシンなどの有害物質を含むゴミの焼却灰や下水汚泥が持ち込まれ、たえず有毒ガスや可燃性ガスが発生しています。3月28日には爆発事故が起きるなど、命の危険性が顕在化しました。災害時の避難計画も、立てようにも立てられない危険な場所との指摘もあります。

このような危険な場所に、子どもたちを「無料招待」で動員するようなことは、到底、許されるべきものではありません。

また、さまざまな問題点も浮上しています。たとえば、パビリオンを自由に選ぶことができない。日時も自由には決められない、万博駐車場から入口まで1キロほど徒歩移動しなければならない。児童・生徒の参加見込みは一日当たり1.4万人と推計されるが、昼食をとる団体休憩所は2000人までとなっている。いつ下見ができるのか分からない。医療的ケアが必要な児童への対応が示されていない。こうした数々の重要問題が、各方面から指摘されているところです。

西宮市と教育委員会にあっては、こうした危険な現状と問題点を踏まえ、「子どもたちの命と安全第一」という立場を堅持し、対応されることを強く申し入れるものです。

以上

